

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2019年10月②号

<決算特別委員会報告>

◆「命の水」を守れ！どんどん進む、規制緩和路線について

国が法律を変え、公的な役割を担っている水道事業に、民間企業がどんどんと参入してくる仕組みを作ってきています。

最近では、**水道法改正**がそうです。「命の水」と言われる水道を営利目的の民間に任せていいのかが大いに問われます。

海外では、水道事業を民間移管した結果、水道料金は上がり、水質保全が低下する等問題が次々に起こり、公営に戻っている国が増えていきます。

それなのに、日本では民営化を検討している自治体が出てきています。京都市水道局は、「本体運営部分は直営を維持する。民間ができるところは民間に委ねる」という方針です。現在、水道メーター検診や水道栓の開閉、滞納集金、お客様サービスの相談窓口等々をすでに民間に委託しています。玉本市議は、『市民に直接関わる部門での民間委託は、福祉的支援が必要な方への対応が見落とされないか』質疑しました。本体部分は直営と言っても、枝葉の部分は民間任せでは、いざという時に公的な役割が果たせるか大いに問われます。

◆**卸売市場法の改正**も、規制緩和され、そこに対応する「京都市中央卸売市場業務条例」の改正案が提案されています。これも、公設の市場の民間化を進める法改正です。京都市の対応が問われます。現在、施設開設もされており、業者負担の問題も含めて、課題が山積しています。



(左写真、早朝5時から市場施設に行きました。マグロのセリ前に説明を受けています。左から5番目が玉本市議)

台風19号の爪痕・・・

記録的な大雨をもたらした台風19号により、東日本の広い範囲で甚大な被害が出ました。死者73人、行方不明13人（共同通信15日）の状況ですが、復興には大変な時間がかかると思います。被災者の皆さまには、心から哀悼の意を表し、お見舞いを申し上げます。

昨年の非常に強い台風21号に続き、自然災害が続きます。地球温暖化に真剣に取り組まなくてはなりません、アメリカや中国、日本の姿勢が多いに問われます。



加茂街道上賀茂橋上った所の巨木の大きな枝が折れました。人がなごったのは不幸中の幸いでした。昨年台風21号ではけがもありました。老木管理が問われます。

つぶやき：消費税増税

とうとう、増税されてしまいました。国民の多くが反対する中でのごり押しは、ほんとにひどいと思います。あるお米屋さんでは8%のままだけど、「軽減税率」と印字をしないといけないとのこと。今回レジを買い替えないといけなかったとのこと。補助金はあったそうですが、8%増税からずっと、商売は大変と、これからの不安を感じておられました。



右から、穀田恵二衆議院議員、浜田府会議員、左：玉本なるみ市会議員



台風19号の影響で、中止にした学区やプログラムを縮小しながら実施されるなど、片付けも含めて、今年にはほとんどにご苦労様でした。昨年は体育振興委員だったので、各学区の会場を回すのが、今年は出陣にがんばりました。張りが応援が、張りだして、大会は盛り合いました。3位は大会が、上位で盛況でした。

区民体育祭

アンテナ

